I-O DATA

B-MANU202185-01

取扱説明書

VPN接続BOX
BX-VP1シリーズ

▌BX-VP1-Sの内容物

- ☐ 本体(親機/子機 各1台)
- ☑ 取扱説明書(本紙/1枚)
- ☐ 子機増設ガイド(1枚)
- ☐ iOS接続シート(1枚)
- ☐ ACケーブル(1.8m/2本)
- ☐ ACケーブルクランプ(2本)
- ☐ 壁掛け用金具(4個)
- ☐ ネジ(8本)

▌BX-VP1の内容物

- ☐ 本体(子機 1台)
- ☑ 取扱説明書(本紙/1枚)
- ☐ 子機増設ガイド(1枚)
- ☐ ACケーブル(1.8m/1本)
- ☐ ACケーブルクランプ(1本)
- ☐ 壁掛け用金具(2個)
- ☐ ネジ(4本)

お買い上げ時のレシート等はご購入日を証明するものです。大切に保管してください。
詳しくは裏の【ハードウェア保証規定】をご覧ください。

ご注意:本製品ご利用前に以下の確認、準備をお願いします

▌ホームネットワークチェッカーをダウンロードし、実行すると、VPN構築が可能な環境かどうかを事前に診断できます

http://www.iodata.jp/r/4812

▌ご利用のルーターが「IPsecパススルー」に対応しているかどうかご確認ください。(ルーターの取扱説明書参照)

▌リモートレプリケーションを利用する場合は、十分なスループットを確保できる光回線をご使用ください。

▌準備するもの:ご利用になる伝送方式にあうLANケーブル2本

・1000BASE-T通信時:カテゴリ5E以上のUTP、またはSTPケーブル
・100BASE-TX通信時:カテゴリ5以上のUTP、またはSTPケーブル
・10BASE-T通信時　:カテゴリ3以上のUTP、またはSTPケーブル

▌親機と子機の見分け方

SERVER/CLIENT切替スイッチの位置で見分けることができます。

SERVER側:親機として使用時
CLIENT側:子機として使用時

※ また、本体の天面には「親機」または「子機」と書かれたシールが貼られています。

▌BX-VP1-Sは出荷時で親機と子機のペアリングが完了しています

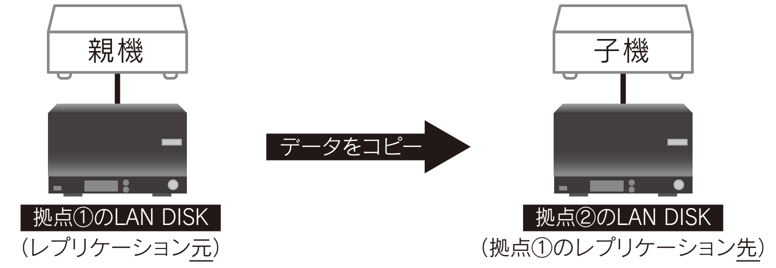
子機を増設した場合や、本製品の初期化をおこなった場合は、VPN接続前にペアリングをおこなってください。
(別紙「子機増設ガイド」参照)

▌本製品を利用すると、LAN DISKのNICチーミング機能は使用できません

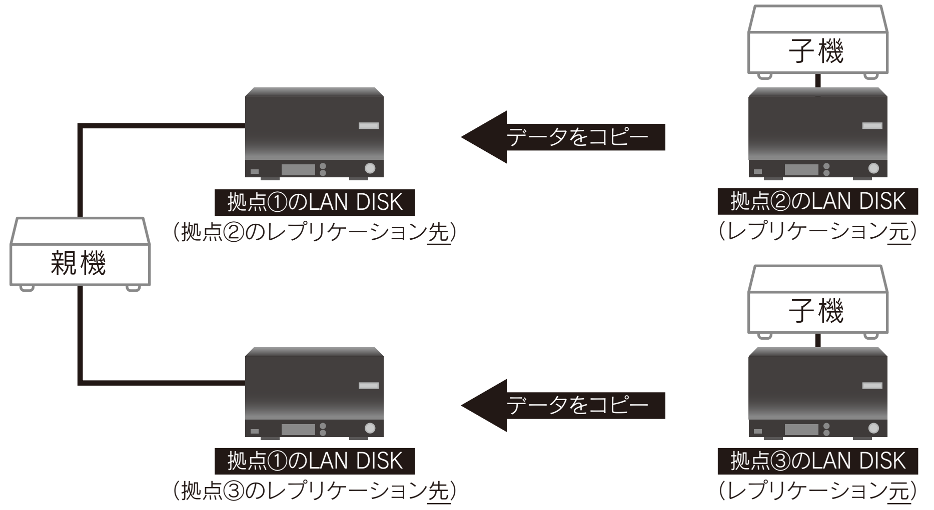
あらかじめご了承ください。

ご利用イメージ

接続例1 拠点①(本社など)のファイルサーバーのレプリカを、拠点②(支社など)に構築する場合



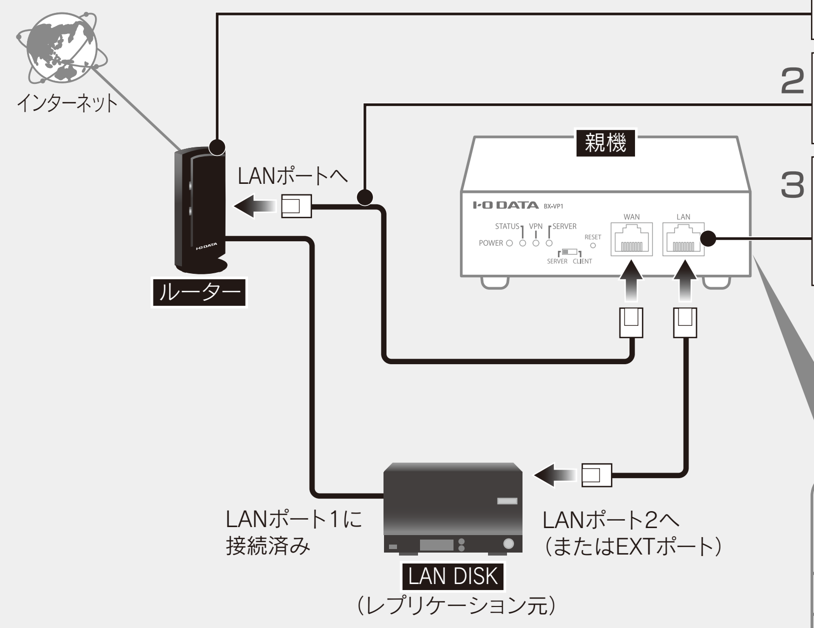
接続例2 他拠点(支社など)のファイルサーバーのレプリカを、拠点①(本社など)に集約させる場合



はじめてVPNを構築する方法(BX-VP1-Sで 接続例1 の場合)

1.拠点①に**親機**を設置します

拠点①(本社など)

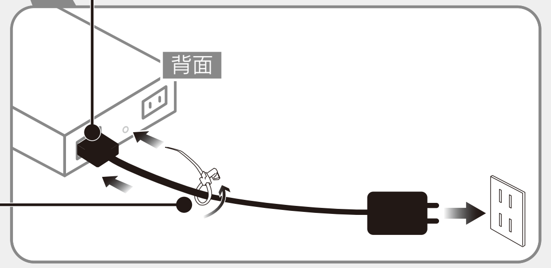


1 ルーターの「IPsecパススルー」を有効にする
(設定方法は、ご利用のルーターの取扱説明書参照)

2 LANケーブルで、ルーターのLANポートと親機のWANポートをつなぐ

3 LANケーブルで、他拠点とVPN接続させたいLAN DISKのLANポート2(またはEXTポート)と親機のLANポートをつなぐ

4 添付のACケーブルを、親機のAC100V INコネクターと電源コンセントに挿す



5 添付のACケーブルクランプを、ACケーブルに巻き、ACケーブルクランプ取り付け穴に挿して固定する

以上で、親機の設置は完了です。次に子機を設置します。
右記「2.拠点②に子機を設置します」へお進みください。

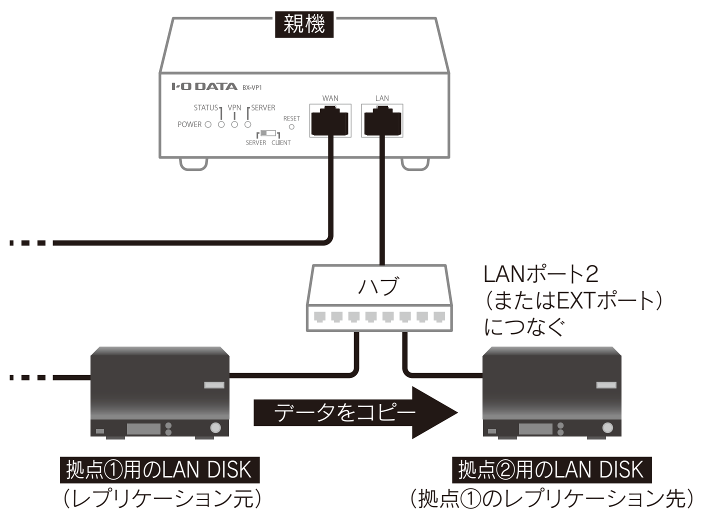
ご注意:レプリケーション元LAN DISKにデータがある場合は、ローカル環境でのコピーをおすすめします

データの入っているLAN DISK(レプリケーション元)のリモートレプリケーションによる共有フォルダーの初回の同期には、時間がかかります。
また、ネットワーク環境に負荷がかかるため、通常の業務に支障が出る可能性があります。
拠点②にLAN DISK(レプリケーション先)を送る前に以下のようにつなぎ、ローカル環境にて同期をおこなうことをお勧めします。

【初回同期完了までの時間(目安)】
通信速度60Mbps程度のインターネット回線において、データ容量1.0TBのファイルのレプリケーションをおこなった場合=約40時間

1 右図のように拠点②用のLAN DISKをつなぐ

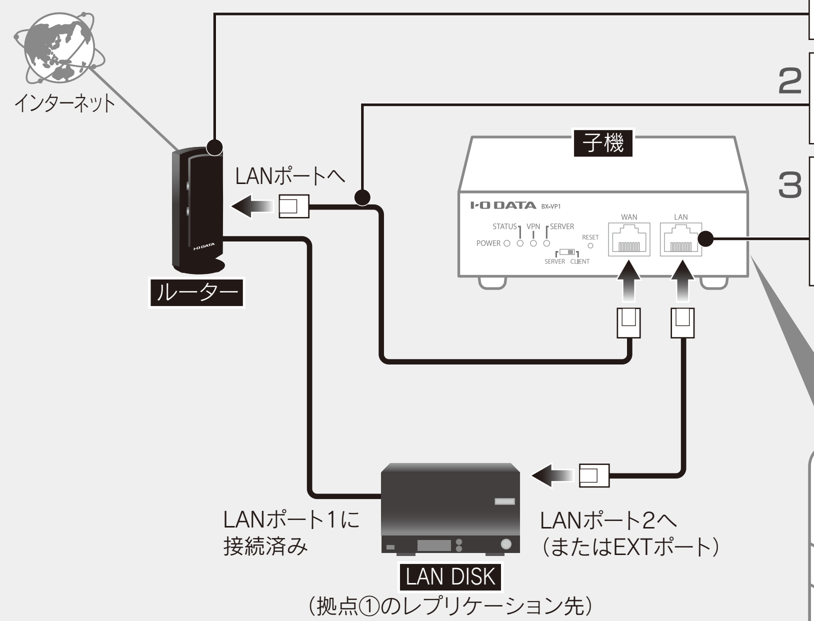
2 LAN DISKのレプリケーションの設定をする
(設定方法は、ご利用のLAN DISKの取扱説明書参照)



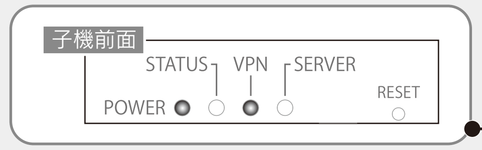
以上で、LAN DISKの設定は完了です。拠点①のLAN DISKは「1.拠点①に親機を設置します」の状態に戻します。
拠点②のLAN DISKは拠点②へ運び、設置をおこないます。(「2.拠点②に子機を設置します」参照)

2.拠点②に**子機**を設置します

拠点②(支社など)



※ LAN DISK(レプリケーション先)のIPアドレスは固定設定にしてください。(設定方法は、ご利用のLAN DISKの取扱説明書参照)

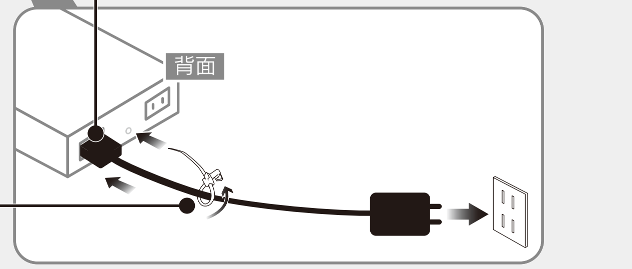


1 ルーターの「IPsecパススルー」を有効にする
(設定方法は、ご利用のルーターの取扱説明書参照)

2 LANケーブルで、ルーターのLANポートと子機のWANポートをつなぐ

3 LANケーブルで、他拠点とVPN接続させたいLAN DISKのLANポート2(またはEXTポート)と子機のLANポートをつなぐ

4 添付のACケーブルを、子機のAC100V INコネクターと電源コンセントに挿す



5 添付のACケーブルクランプを、ACケーブルに巻き、ACケーブルクランプ取り付け穴に挿して固定する

6 子機のVPNランプが点灯していることを確認する

以上で、子機の設置は完了です。
次にLAN DISKの設定をします。

VPN対地数(本製品親機との接続可能数)

本製品子機:2台まで(※)
その他デバイスを含めて同時合計4台まで推奨
(※)本製品子機の配下に接続できるデバイスは、1台のみです。

3.LAN DISKのレプリケーション設定をする

1 LAN DISKのレプリケーション設定をする　※ 設定方法は、ご利用のLAN DISKの取扱説明書参照

※ レプリケーション先の指定はIPアドレスで設定してください。

※ 弊社製「HDL-Zシリーズ」にてDFSレプリケーションをご利用の場合、インターネット越しにアクティブディレクトリに参加する必要があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

※ 拠点①から拠点②のLAN DISKをリモートアクセスで設定する場合、HDL-Zシリーズでは、液晶モニター、キーボード、マウスをHDL-Zシリーズに接続して設定してください。
HDL-Zシリーズ以外では、親機のLANポートにハブをつなげて、LAN DISKとパソコンを接続して設定してください。

※ 子機に接続したLAN DISKのIPアドレスは「192.168.88.110」または「192.168.88.111」になります。既にIPアドレスを固定していた場合は、VPNのセグメントで使用できるように変更してください。

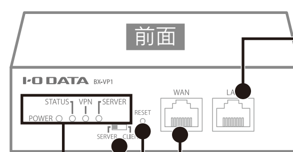
※ 親機に接続したLAN DISKの設定は、拠点①のルーターに接続しているパソコンからおこなえます。

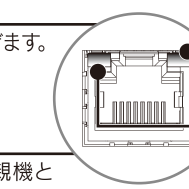
ご注意:初回レプリケーションには時間がかかります

業務に支障が少ない時間帯におこなうか、ローカル環境にておこなうことをお勧めします。
(左記「ご注意:レプリケーション元LAN DISKにデータがある場合は、ローカル環境でのコピーをおすすめします」参照)

以上で、VPN構築は完了です。
リモートレプリケーションやリモートアクセスをご利用ください。

各部の名前と機能





LANポート
VPN接続させたいNASとつなぎます。
または本製品の親機と子機をペアリングする際に使用します。

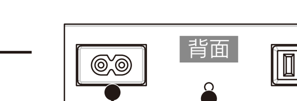
WANポート
ルーターとつなぎ、本製品の親機と子機間でVPN接続します。

GIGAランプ
橙点灯：1000BASE-Tで機器と通信中

LINK/ACTランプ
緑点灯：機器を接続状態
緑点滅：機器に通信中

RESETボタン
約3秒長押し：親機と子機間でペアリングをおこないます。
約10秒以上長押し：以下の手順で出荷時設定に戻します。
① SERVERランプが点滅→消灯し、POWERランプが点滅するまで長押し(約10秒)
② STATUSランプが点滅→消灯するまで待つ

SERVER/CLIENT切替スイッチ
スイッチを切り替え、電源を入れ直すと本製品のモードが切り替わります。
SERVER：親機として使用時 / CLIENT：子機として使用時



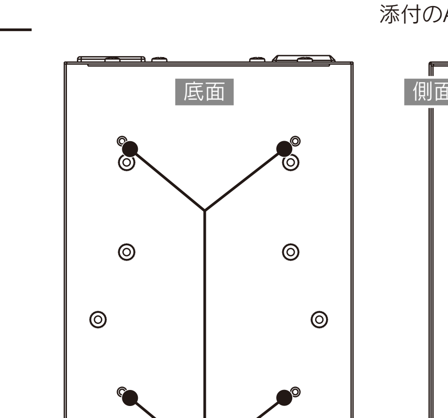
AC100V 最大200W 非連動コネクター
サービスコンセントです。

最大200W以内で使用し、たこ足配線はしないでください
200Wを超えて使用すると、過熱し、火災の原因になります。

ACケーブルクランプ取り付け穴

AC100V IN コネクター
添付のACケーブルを接続します。

ランプ	動作	概要
POWER	点灯	電源オン時
	点滅	設定初期化開始
	消灯	電源オフ時
STATUS	点灯	ファームウェアアップデートがあることのお知らせ
	遅い点滅	起動中
	速い点滅	設定初期化中
	消灯	通常動作時
VPN	点灯	親機と子機間でVPN接続中
	消灯	VPN接続していない状態
SERVER	点灯	親機として使用時
	点滅	親機と子機間でペアリング中
	消灯	子機として使用時



壁掛け用金具取り付けネジ穴

マグネット取り付け位置
別売のマグネットキット「NB-OP/MAG」(4個入)を取り付けることができます。

iPhone、iPadからVPN接続する方法

「VPNコネクト」アプリをインストールし、「iOS接続シート」上のQRコードを読み込むと、iPhoneやiPadから簡単にオフィス機器（ファイルサーバー、PCなど）へのリモートアクセスが実現できます。
設定方法については、「iOS接続シート」または「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
※「iOS接続シート」に記載されたパスワードは、セキュリティ向上のために定期的に変更してください。詳しくは、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

Android端末、Windowsパソコン、MacからVPN接続する方法

手動で設定します。詳しくは「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
※ Android端末、Windowsパソコン、Macは「VPNコネクト」アプリは使用できません。

本製品の詳しい使い方について（「画面で見るマニュアル」の開き方）

「画面で見るマニュアル」では、以下を説明しています。弊社ホームページよりご覧ください。

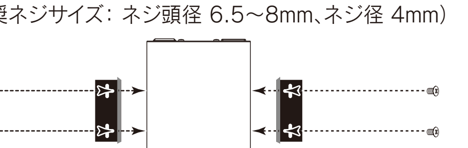
- VPN接続の手動設定方法
- パスワードの変更方法
- プレシェアードキーの変更方法
- 設定画面の開き方
- 設定画面のリファレンス
- 困ったときには　　等

➡ **http://www.iodata.jp/lib/**
（「BX-VP1-S」または「BX-VP1」を検索し、開く）

ご注意：定期的にプレシェアードキーを変更してください
セキュリティ向上の為に、定期的にプレシェアードキーを変更することをお勧めします。(親機と子機ともに同じ内容で変更します。)
変更は設定画面の[VPN設定]画面でおこなえます。詳しくは「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

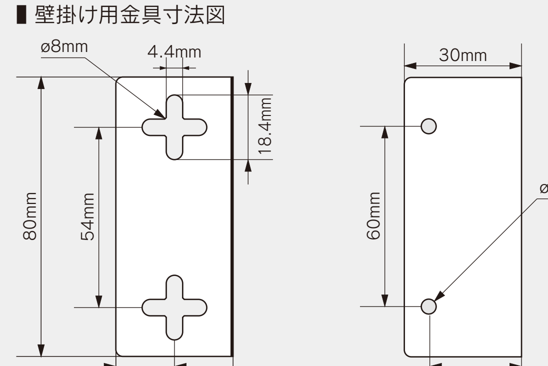
壁掛け方法

添付の壁掛け用金具とネジを、本製品に取り付け、壁に設置します。
※　壁用のネジは同梱していません。壁掛け用金具にあうネジをご用意ください。
（推奨ネジサイズ：ネジ頭径 6.5～8mm、ネジ径 4mm）



※ 金具を内側向きにして、省スペースに設置することも可能です。
※ 本製品は底面が見える向き、前面が下になる向き等、どの向きでも取り付けが可能です。
※ 石こうボードなど中空の壁に取り付ける場合は、それぞれの壁に対応したボードアンカーやボードプラグを使用して、ネジ止めをおこなってください。

■ 壁掛け用金具寸法図



安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

⚠ 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

🚫	禁止
❗	指示を守る

⚠ 危険

本製品を修理・分解・改造しない
火災や感電、やけど、故障の原因になります。

⚠ 警告

雷が鳴り出したら本製品や電源コードに触れない
感電の原因になります。

ACアダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などがACアダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、火災・感電の原因になります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
・掃除は必ず乾いた布でおこなってください。
・万一、ACアダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

本製品の小さな部品（ネジなど）を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

煙がでたり変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止する
コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
火災の原因になります。

故障や異常のまま、通電しない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外し、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。

▼ 電源について

ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
発煙したり火災の原因になります。

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントにつながない
発熱、火災の恐れがあります。

電源コード、ACアダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、火災・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、火災や感電の原因になります。

添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながない
添付の電源コードおよびACアダプターは本製品専用です。他の機器につなぐと、火災や感電の原因になります。

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、火災の原因になります。(トラッキング現象)
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
火災の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量(「1500W」などの記載)を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、火災の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない
破損し、ケガの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

長時間にわたり一定の場所に触れ続けない
本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

▼ 電源について

人が通行する場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

アフターサービス

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

「画面で見るマニュアル」の「困ったときには」を参照
➡ **http://www.iodata.jp/lib/**

弊社サポートページのQ&Aを参照
➡ **http://www.iodata.jp/support/**

最新のソフトウェアをダウンロード
➡ **http://www.iodata.jp/lib/**

それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3017
※受付時間　9：00～17：00　月～金曜日（祝祭日をのぞく）
FAX：076-260-3360
インターネット：http://www.iodata.jp/support/

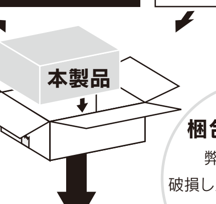
＜ご用意いただく情報＞製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

ハードウェア保証書または お買い上げ時のレシート

メモ
●氏名　●住所
●電話番号　●FAX 番号
●メールアドレス　●症状
※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。



梱包は厳重に！
弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

宅配便で送付
紛失をさけるため宅配便でお送りください。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。(見積無料)
　金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
●内部にデータが入っている製品の場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
　バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
●保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
●修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは… **http://www.iodata.jp/support/after/**

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。)に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。)の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より36ヶ月、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

1) レシートや納品書に記載されたご購入日から36ヶ月の保証期間が経過した場合
2) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
3) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
4) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
5) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
6) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
7) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
8) 弊社が寿命に達したと判断した場合
9) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
10) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。Our company provides the service under this warranty only in Japan.

【ユーザー登録はこちら】･･･**https://ioportal.iodata.jp/**
ユーザー登録にはシリアル番号(S/N)が必要となりますので、メモしておいてください。
シリアル番号(S/N)は本製品に印字されている12桁の英数字です。(例：ABC1234567ZX)

【本製品の廃棄について】
本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【商標について】
●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft、Windowsは米国または他国におけるMicrofost Corporationの登録商標です。
●Macintosh、Mac、Mac OSおよびその商標は、米国Apple Inc.の登録商標です。
●QRコード®は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
●iPhone、iPad、iPod touch、App StoreはApple Inc.の商標です。
●iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
●Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは 法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
　国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。